

ICT 活用 TIPS PC カメラ等を活用したプレゼンテーション

何を使う

機器 カメラ搭載のPC、ディスプレイ

ソフトウェア（アプリ）



それをどう使う（それで何ができる）

- ・授業内で実施される「show and tell」などのプレゼンテーションや表現活動において実物提示を行う際に、PCのインカメラを用いてディスプレイに投影することで、聴き手・発表者の双方にメリットをもたらすことができる。
- 聴き手：教室後方の聴き手にも見やすい形での実物提示ができる。
- 発表者：自分の発表内容に対して、聞き手の反応を意識することに加えて、ディスプレイにどのように写るかを確認しながら発表を進めることにより、プレゼンテーション能力を高めることが期待できる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 国語

【 Before 】

- ディスプレイのない状態での実物提示は後ろの聴き手には見えづらいため、発表者の実物提示の意図が十分に伝わらないことがあった。



【 After 】 **メリット**

- 大型のディスプレイに投影することで、実物（絵や図なども含む）自体が見やすくなることに加えて、それらのより細かな情報や特徴に気付かせることができるようになる。
- 発表者にとっては、実物提示を行うときに動作を伴うので、その場に掲げるだけの場合に比べて、表現力を意識したり、緊張を緩和したりなどの効果が期待できる。
- 聴き手は発表者と画面を交互に見ることになり、発表内容に対して関心を保ちやすく、集中力も維持しやすくなる。

機器 (台 数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学 習 場 面	一 斉	個 別	協 働
			○	ディスプレイ			○		
	※外付けのウェブカメラなどでも代用可								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続			1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		国語等		
	○	○	○	○	活用が想定される場面		表現活動		